

岐阜県の結核の現状（R5 年）

1 結核患者数・罹患率及び死亡者数・死亡率

1-1 結核新登録患者数及び罹患率

表1 諸外国と日本及び岐阜県の結核罹患率

	西暦	2020	2021	2022	2023
	和暦	R2	R3	R4	R5
米国		2.4	2.6	2.6	
カナダ		5.9	5.3	5.7	
オランダ		4.1	4.4	4.1	
イタリア		6.6	4.9	4.6	
デンマーク		4.9	3.8	4	
ドイツ		5.5	5.0	5.1	
オーストラリア		7.3	6.5	5.6	
スウェーデン		3.6	3.8	3.9	
フランス		8.2	7.7	7.2	
英国		6.9	6.3	7.6	
日本		10.1	9.2	8.2	8.1
岐阜県		13.4	10.9	10.1	9.1

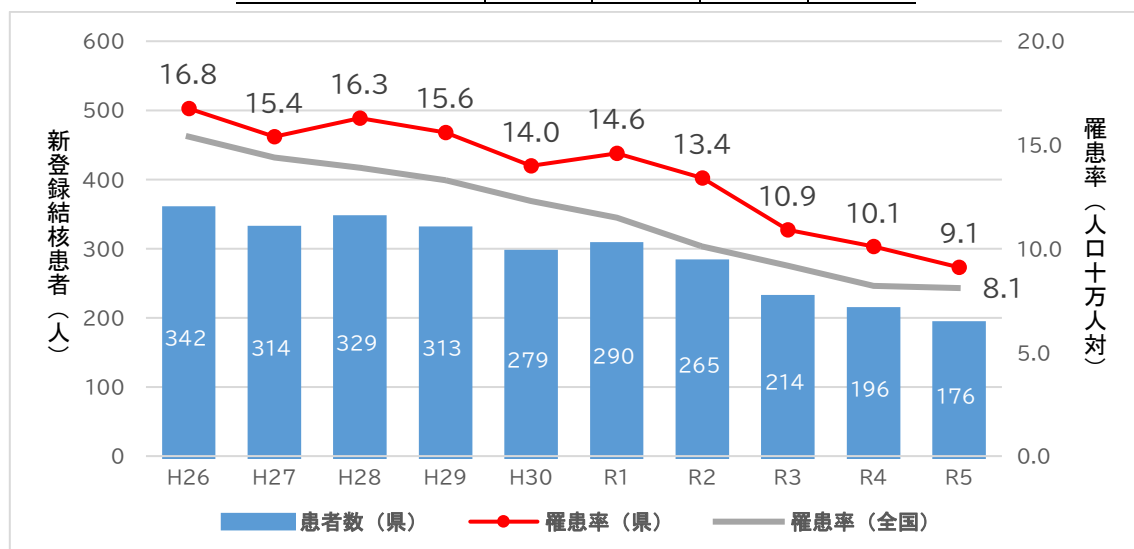


図1 新登録結核患者数及び罹患率の年次推移

日本の結核罹患率は令和3年以降、低まん延国の水準（人口10万人対新登録全結核罹患率10以下）を下回ったが、欧米先進国と比較すると未だ高く、結核の制圧に向けて継続的に対策を講じる必要がある。令和5年の日本の結核罹患率は8.1であり、岐阜県の結核罹患率は9.1であった。

前年より1.0減少したものの、全国で8番目に高い。令和5年の新登録結核患者数は176人であり、前年より20人減少した。

1 - 2 喀痰塗抹陽性肺結核患者数（再掲）

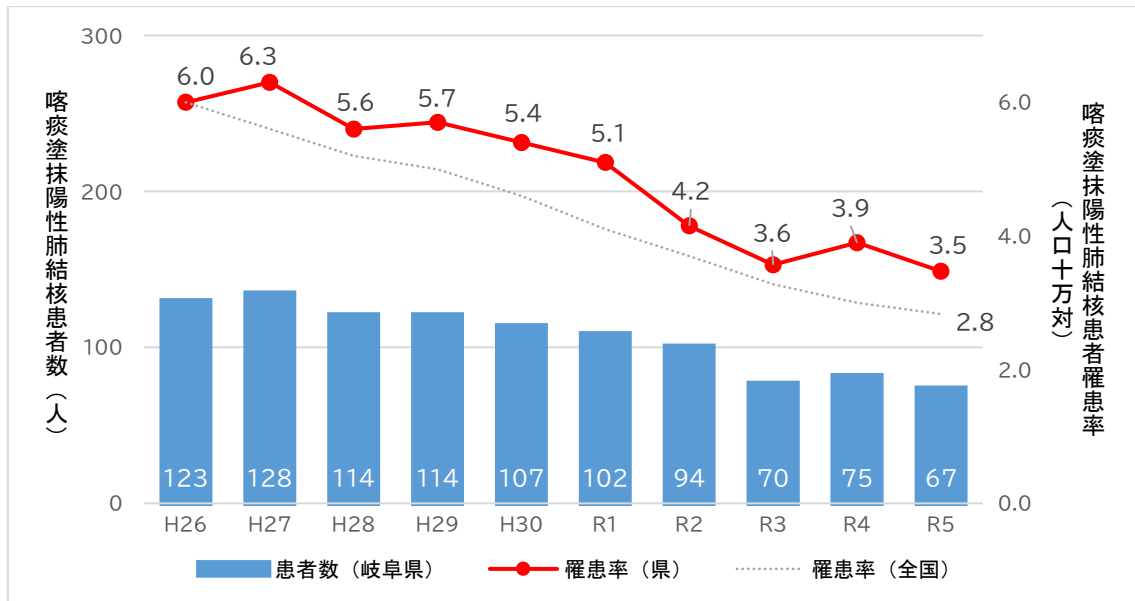


図2 喀痰塗抹陽性肺結核患者数及び罹患率の年次推移

令和5年の岐阜県における新登録患者のうち、喀痰塗抹陽性肺結核の患者数は67人で前年より8人減少した。喀痰塗抹陽性肺結核罹患率（人口10万対）は3.5で前年より0.4減少しており、全国で6番目に高い。

2 結核死亡者数及び死亡率

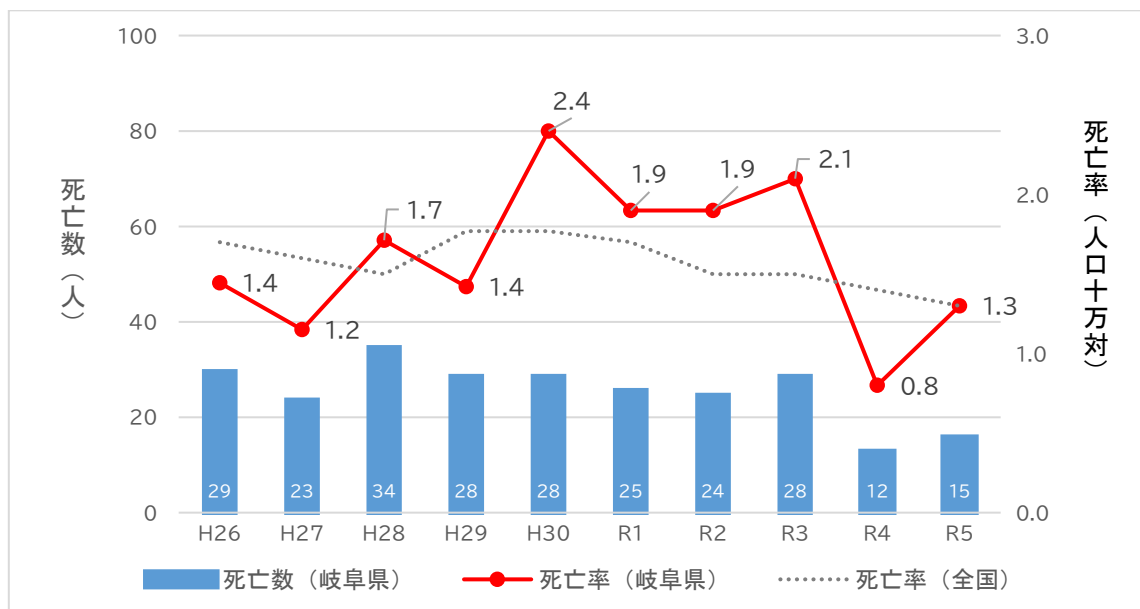


図3 結核死亡者数及び死亡率の年次推移

令和5年の岐阜県の結核による死亡数は15人で、前年の12人に比べ3人増加した。死亡率（人口10万対）は1.3で、前年度より0.5増加し、全国の平均と同じであった。

3 年齢階級別の結核患者数

3-1 新登録患者

表2 年次別・年齢階級別 新登録患者数

年	H29		H30		R1		R2		R3		R4		R5	
総数	313		279		290		265		214		196		176	
0-4 歳	0	0%	0	0%	2	1%	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%
5-9 歳	0	0%	0	0%	1	0%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%
10-14 歳	0	0%	0	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
15-19 歳	1	0%	0	0%	1	0%	2	1%	1	1%	3	1%	5	3%
20-24 歳	13	4%	7	3%	15	5%	12	5%	10	4%	11	6%	18	10%
25-29 歳	11	4%	11	4%	14	5%	12	5%	6	3%	9	5%	10	6%
30-34 歳	9	3%	7	3%	5	2%	5	2%	4	2%	3	1%	13	7%
35-39 歳	6	2%	5	2%	9	3%	11	4%	6	3%	6	3%	4	2%
40-44 歳	12	4%	8	3%	8	3%	4	2%	5	2%	5	3%	1	1%
45-49 歳	8	3%	5	2%	4	1%	6	2%	4	2%	3	1%	3	2%
50-54 歳	4	1%	2	1%	11	4%	11	4%	3	1%	7	4%	4	2%
55-59 歳	6	2%	11	4%	6	2%	6	2%	6	3%	5	3%	4	2%
60-64 歳	7	2%	11	4%	8	3%	8	3%	7	3%	4	2%	6	3%
65-69 歳	19	6%	16	6%	9	3%	14	5%	9	4%	4	2%	2	1%
70-74 歳	18	6%	20	7%	32	11%	18	7%	17	8%	14	7%	11	6%
75-79 歳	42	13%	26	9%	29	10%	37	14%	31	14%	30	15%	20	11%
80-84 歳	65	21%	39	14%	49	17%	31	12%	27	13%	28	14%	25	14%
85-89 歳	46	15%	61	22%	59	20%	50	19%	36	17%	38	20%	24	14%
90 歳-	46	15%	50	18%	27	9%	38	14%	41	19%	26	13%	25	14%

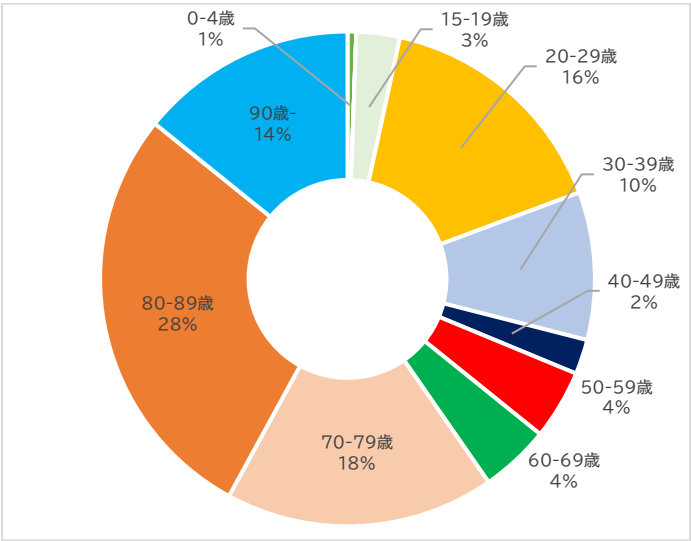


図4 年齢階級別新登録結核患者割合（R5年）

令和5年の年齢階級別の患者割合では、90歳以上が14%、80歳代が28%、70歳代が18%となっている。

新規登録患者のうち70歳以上の高齢者が60%を占め、80歳以上の高齢者は42%を占める。また、15~39歳が29%と増加傾向である。

3 - 2 喀痰塗抹陽性肺結核患者

表 3 年次別・年齢階級別 喀痰塗抹陽性肺結核新登録患者数（再掲）

年	H29		H30		R1		R2		R3		R4		R5	
総数	114		107		102		82		70		75		67	
0-4 歳	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
5-9 歳	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
10-14 歳	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
15-19 歳	1	1%	0	0%	1	1%	1	1%	0	0%	1	1%	0	0%
20-24 歳	1	1%	2	2%	3	3%	0	0%	4	6%	4	5%	8	12%
25-29 歳	3	3%	1	1%	1	1%	2	2%	0	0%	2	3%	4	6%
30-34 歳	1	1%	1	1%	1	1%	0	0%	1	1%	0	0%	3	4%
35-39 歳	1	1%	1	1%	2	2%	2	2%	0	0%	3	4%	1	1%
40-44 歳	2	2%	2	2%	3	3%	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%
45-49 歳	1	1%	3	3%	2	2%	1	1%	0	0%	1	1%	2	3%
50-54 歳	2	2%	2	2%	5	5%	1	1%	3	4%	2	3%	0	0%
55-59 歳	2	2%	4	4%	1	1%	2	2%	0	0%	1	1%	1	1%
60-64 歳	1	1%	5	5%	3	3%	4	5%	1	1%	0	0%	3	4%
65-69 歳	9	8%	2	2%	3	3%	3	4%	2	3%	2	3%	1	1%
70-74 歳	5	4%	9	8%	14	14%	7	9%	6	9%	8	11%	4	6%
75-79 歳	18	16%	8	7%	12	12%	10	12%	12	17%	10	13%	6	9%
80-84 歳	28	25%	13	12%	10	10%	11	13%	15	21%	10	13%	11	16%
85-89 歳	16	14%	33	31%	26	25%	22	27%	14	21%	16	22%	8	12%
90 歳-	23	20%	21	20%	15	15%	16	20%	12	17%	14	19%	15	22%

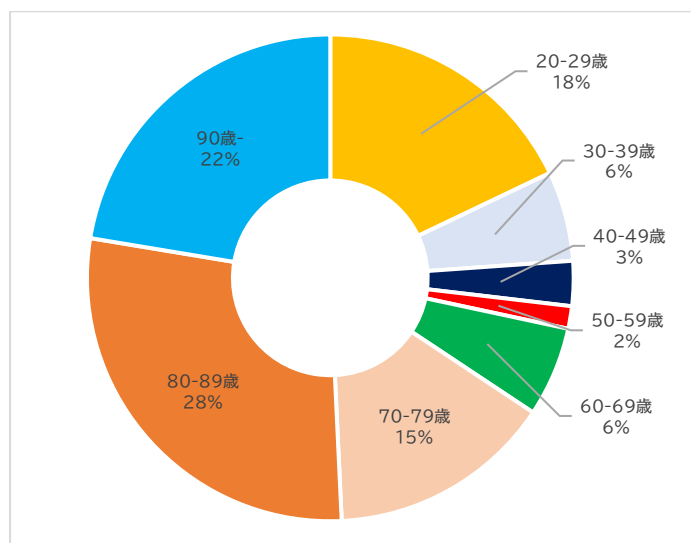


図 5 年齢階級別喀痰塗抹陽性肺結核新登録患者割合（R5 年）

喀痰塗抹陽性肺結核新登録患者の年齢階級別の割合は年による増減があるが、例年 70 歳以上から割合が大きくなっている。

令和 5 年の年齢階級別の割合では、80 歳以上が全体の半数、70 歳以上で全体の 65% を占めており、新登録患者以上に高齢者の占める割合が大きい。

また、20～39 歳が 24% と割合が高くなっている。

3-3 潜在性結核感染症（LTBI）患者

表4 年次別・年齢階級別 潜在性結核感染症（LTBI）新登録患者数

年	H29		H30		R1		R2		R3		R4		R5	
総数	133		98		109		83		91		76		81	
0-4 歳	7	5%	6	6%	10	9%	7	8%	3	3%	6	8%	4	5%
5-9 歳	2	2%	1	1%	3	3%	2	2%	0	0%	1	1%	0	0%
10-14 歳	2	2%	1	1%	2	2%	1	1%	1	1%	1	1%	1	1%
15-19 歳	2	2%	0	0%	3	3%	0	0%	0	0%	0	0%	4	5%
20-24 歳	8	6%	2	2%	3	3%	2	2%	6	7%	3	4%	14	17%
25-29 歳	4	3%	2	2%	1	1%	6	7%	2	2%	3	4%	8	10%
30-34 歳	8	6%	6	6%	3	3%	2	2%	5	6%	2	3%	2	2%
35-39 歳	6	5%	6	6%	3	3%	1	1%	0	0%	4	5%	5	6%
40-44 歳	5	4%	5	5%	8	7%	2	2%	3	3%	2	3%	2	2%
45-49 歳	14	11%	9	9%	11	10%	3	4%	9	10%	3	4%	4	5%
50-54 歳	8	6%	7	7%	6	6%	2	2%	1	1%	4	5%	7	9%
55-59 歳	11	8%	9	9%	5	5%	2	2%	1	1%	3	4%	3	4%
60-64 歳	7	5%	9	9%	5	5%	4	5%	5	5%	6	8%	4	5%
65-69 歳	10	8%	11	11%	9	8%	9	11%	6	7%	3	4%	3	4%
70-74 歳	12	9%	5	5%	13	12%	12	14%	13	14%	4	5%	4	5%
75-79 歳	6	5%	6	6%	10	9%	7	8%	11	13%	14	18%	3	4%
80-84 歳	4	3%	5	5%	7	6%	6	7%	13	14%	8	11%	8	10%
85-89 歳	11	8%	3	3%	3	3%	10	12%	9	10%	9	12%	3	4%
90 歳-	6	5%	5	5%	4	4%	5	6%	3	3%	0	0%	2	2%

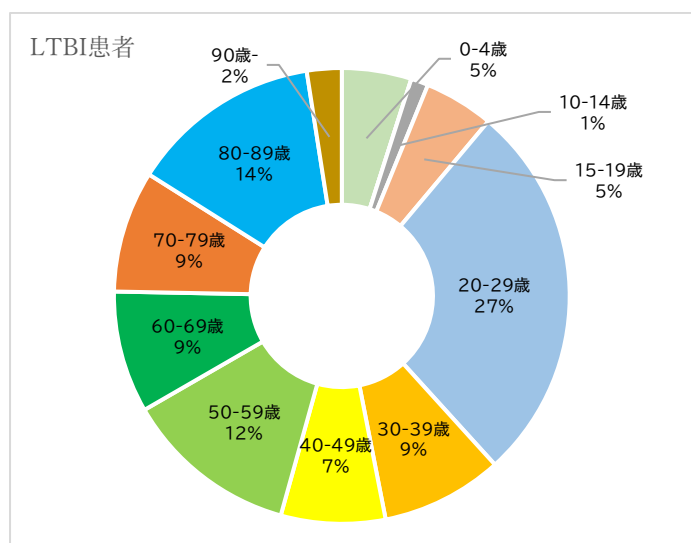


図6 年齢階級別潜在性結核感染症新登録患者割合（R5年）

令和5年に岐阜県で新たに登録された潜在性結核感染症（LTBI）患者の数は81人で、前年より5人増加した。

年齢階級別の割合をみると、70歳以上の高齢者が25%、40～69歳で28%、15～39歳で41%であった。

LTBI患者は、岐阜県では若年層の割合が増加傾向にあり、今後の発症リスクを念頭においた対策が必要である。

4 年齢階級別の結核罹患率

4-1 新登録患者

表 5 年次別・年齢階級別 結核罹患率（新登録患者）

年	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
総数	15.6	14.0	14.6	13.4	10.9	10.1	9.1
0-4 歳	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	1.6
5-9 歳	0.0	0.0	1.2	0.0	1.2	0.0	0.0
10-14 歳	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0
15-19 歳	1.0	0.0	1.0	2.0	1.1	3.2	5.5
20-24 歳	14.5	7.6	15.7	12.4	11.6	12.6	20.2
25-29 歳	12.5	12.9	16.9	14.8	7.4	11.2	12.5
30-34 歳	9.0	7.2	5.3	5.4	4.5	3.5	15.6
35-39 歳	5.2	4.5	8.3	10.3	5.9	6.0	4.1
40-44 歳	8.4	5.8	6.1	3.2	4.2	4.4	0.9
45-49 歳	5.6	3.4	2.7	4.0	2.7	2.1	2.2
50-54 歳	3.2	1.6	8.5	8.4	2.2	5.0	2.8
55-59 歳	5.0	9.1	4.9	4.9	5.0	4.1	3.2
60-64 歳	5.6	9.0	6.6	6.7	6.0	3.4	5.1
65-69 歳	11.5	10.4	6.3	10.3	7.1	3.3	1.7
70-74 歳	14.1	14.5	22.0	11.9	10.6	9.0	7.6
75-79 歳	37.5	22.6	24.1	31.1	27.9	25.9	16.0
80-84 歳	73.9	43.9	55.6	34.6	29.3	29.6	25.7
85-89 歳	80.4	103.9	98.2	81.6	57.1	59.2	37.2
90 歳-	133.1	137.2	70.6	95.4	99.1	83.2	76.9

令和 5 年の年齢別罹患率は、20-24 歳、25-29 歳、30-34 歳及び 75 歳以上の世代において県全体の罹患率である 9.1 を上回っている。90 歳以上の結核罹患率は、平成 30 年まで 100 を超過していたが、令和元年以降、100 以下となっており、年々、減少している。

20-34 歳までの年齢で罹患率が増加しており、若い年代の結核患者の割合が高くなっている。

4 - 2 喀痰塗抹陽性肺結核患者

表 6 年次別・年齢階級別 結核罹患率（喀痰塗抹陽性肺結核患者・再掲）

年	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
総数	5.7	5.4	5.1	4.1	3.6	3.9	3.5
0-4 歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5-9 歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10-14 歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
15-19 歳	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.1	0.0
20-24 歳	1.1	2.2	3.1	0.0	4.7	4.6	9.0
25-29 歳	3.4	1.2	1.2	2.5	0.0	2.5	5.0
30-34 歳	1.0	1.0	1.1	0.0	1.1	0.0	3.6
35-39 歳	0.9	0.9	1.8	1.9	0.0	3.0	1.0
40-44 歳	1.4	1.5	2.3	0.0	0.0	0.9	0.0
45-49 歳	0.7	2.0	1.3	0.7	0.0	0.7	1.5
50-54 歳	1.6	1.6	3.8	0.8	2.2	1.4	0.0
55-59 歳	1.7	3.3	0.8	1.6	0.0	0.8	0.8
60-64 歳	0.8	4.1	2.5	3.3	0.9	0.0	2.5
65-69 歳	5.4	1.3	2.1	2.2	1.6	1.6	0.8
70-74 歳	3.9	6.5	9.6	4.6	3.7	5.1	2.8
75-79 歳	16.1	6.9	10.0	8.4	10.8	8.6	4.8
80-84 歳	31.8	14.6	11.4	12.3	16.3	10.6	11.3
85-89 歳	28.0	56.2	43.3	35.9	22.2	24.9	12.4
90 歳-	66.5	57.6	39.2	40.2	29.0	44.8	46.1

令和 5 年では、20-24 歳、25-29 歳、30-34 歳及び 75 歳以上から県全体の罹患率である 3.5 を上回っている。

新登録患者と同様に若い年代の喀痰塗抹陽性肺結核患者の割合が高くなっている。

5 外国出生者の結核

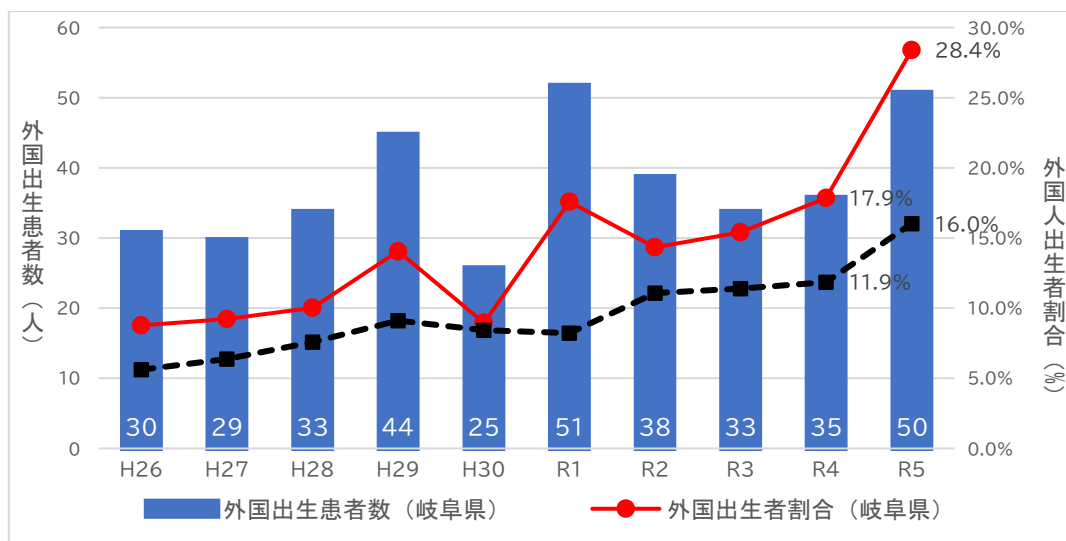


図7 外国生まれ新登録結核患者数の割合

岐阜県における令和5年の外国生まれ新登録結核患者数は、前年から15人増加し、50人であった。このうち、入国5年以内の者は前年から14人増加し、33人であった。

新登録結核患者における外国生まれの患者の割合は、令和5年は前年の17.9%から10.5ポイント増加し、28.4%であり、全国の16.0%より高く、47都道府県中34位であった。また、入国5年以内の者は前年の9.7%から9.1ポイント増加し、18.8%となった。

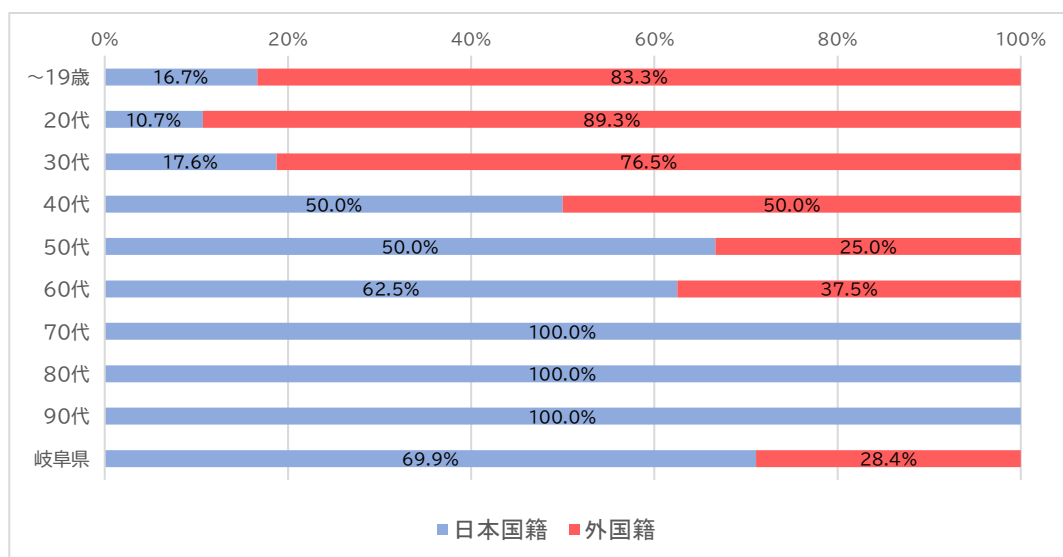


図8 年齢階級別・外国出生者結核患者割合

令和5年の岐阜県における外国生まれ新登録結核患者割合を年齢階級別にみると、若い年代で外国出生者の割合が高い。特に10～20代で8割以上が外国出生者であった。

一方、70代以上は、日本国籍の患者であった。

6 年末時結核登録者数及び有病率

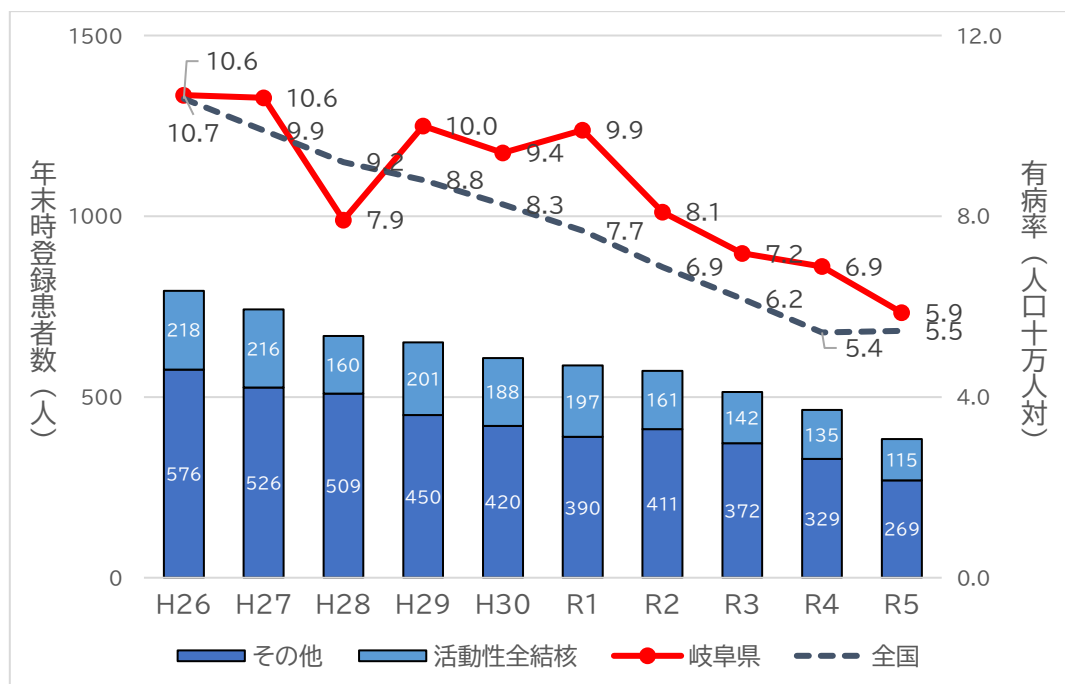


図9 年末時結核登録者数と有病率の年次推移

令和5年末現在の岐阜県の結核登録者数は384人であり、令和4年末登録者数の464人から80人減少した。

活動性全結核の患者数は115人であり、前年の135人から20人減少し、その他の患者数は269人であり、前年の329人から60人減少した。

また、令和5年末の岐阜県の結核有病率（人口10万対）は、5.9であり、前年の6.9から1.0減少したが、国の結核有病率は、5.5であった。全国の平均を上回っている状況である。